

古代口マン

①石馬

石馬は国の重要文化財で、本州では唯一のものです。米子市淀江町福岡の石馬谷古墳(国史跡)に立てられていたと考えられています。古く江戸時代から「石馬大明神」としてまつられ、その後、近くの天神垣神社境内に安置されていました。昭和60年から、淀江歴史民俗資料館に展示されていましたが、現在は、再び天神垣神社境内に大切に保存されています。



②上淀廃寺跡

平成3年に法隆寺金堂壁画と並ぶ、国内最古級の仏教壁画が出土したところです。奈良時代初めに建立され、平安時代中期に火災で焼失したと推察されています。本来の名前は不明で「上淀廃寺」と呼ばれています。出土した壁画等は近くの上淀白鳳の丘展示館に展示されています。



③向山古墳群

古墳時代後期では伯耆最大規模の首長墓群で、昭和7年に群中の岩屋古墳(1号墳)が、平成11年には、長者ヶ平古墳を除く61,082平方メートルが国の史跡に指定されています。



④岩屋古墳

向山丘陵の最も北側に位置する、全長52m、後円部径30m、高さ6m、前方部巾20mの前方後円墳で、二段築成(後円部)の墳丘には葺石が巡らされていました。円筒埴輪、形象埴輪(人物・馬・水鳥)、鉄刀、馬具などが出土し、6世紀後半に作られたものと考えられています。



⑤妻木晩田遺跡

平成11年に国の史跡に指定されました。大山町と米子市にまたがる遺跡で、弥生時代に大山山麓に存在したであろうクニの中心的な大集落であったと考えられます。



⑥淀江台場跡

昭和63年に国の文化財史跡に指定されました。江戸時代末期である文久3年(1863年)、外国船の襲来に備えて、松南徹翁が私財を投じて築造し鳥取藩に献上したものです。長さ約60mもの土塁が残っていますが、当時はこの土塁の上に大砲3門が備えつけられていました。佐陀川河口に標的を置いて射撃訓練を行っていた記録があり、射程距離は4kmぐらいあったようです。



⑦上淀白鳳の丘展示館

上淀廃寺に存在したと思われる金堂や仏像が復元され、約100点の出土品なども展示されています。金堂は約70m²の原寸大で、金堂内部の4面の壁には破片から復元した仏教壁画があしらわれ、同じく出土した破片を元に釈迦如来像と2体の菩薩像も復元されています。



⑧伯耆古代の丘公園

古代淀江をイメージして作られた伯耆古代の丘公園は、四季折々の草花を楽しむことができる公園です。古代ハスの園では6月の終わりから頃から8月にかけて、およそ2,000年前の「大賀ハス」をはじめ30種類をこえる色とりどりの花が楽しめます。



また、お祭り広場では一面芝生になっており、自由に遊ぶことができます。

(問) 0859-56-6817

春 4月8日
壺瓶山(坪上山)の
33番観音靈場の札打ち

5月3日
日吉神社の神幸神事

5月初旬
新茶摘み(壺瓶山)

6月頃から
梅花藻見ごろ
(天の真名井、本宮の泉周辺)

7月中下旬
皆生トライアスロン
(バイクコース)

秋 秋期
美水の郷
秋麗ウォーク

10月頃
コスマス街道
(宇田川地区の沿道)

10月の休日
よどえ夢まつり
(淀江町産業祭)

10月17日
幼児泣き相撲
(日吉神社秋季祭)

12月15日
道祖神の祭日
(各地区)

1月3日
高井谷ビシャモン堂の祭日

閏年の2月
中西尾・富繁の荒神講

2月
町民親睦芸能・
カラオケ大会

よどえ歳時記

春 4月8日
壺瓶山(坪上山)の
33番観音靈場の札打ち

5月3日
日吉神社の神幸神事

5月初旬
新茶摘み(壺瓶山)

6月頃から
梅花藻見ごろ
(天の真名井、本宮の泉周辺)

7月頃から
古代ハス見ごろ
(伯耆古代の丘公園)

7月8日
中間の庚申堂の御開帳

7月9日
精明寺の金比羅大祭

7月27日
小波の塩川大祭

7月海の日
えびす祭り

8月 盆野球
(校区内対抗野球大会)

8月15日
盆踊り花火大会

9月第1日曜日
上淀の八朔

9月の休日
サイクルカーニバルinYODOE

9月の休日
町民音楽祭

ネギ太くん
ネギ子さん
ネギボちゃん

米子市イメージキャラクター
ヨネギーズ

名水

名水百選

⑨天の真名井

「天の真名井」とは神聖な井戸を表し、その中でも最上級の敬称が「天の真名井」で、その名に恥じぬ清らかな水は、環境省の名水百選に選定されています。湧水量は日量2,500トンを誇り、生活用水、農業用水などに広く活用されています。

泉の周辺にはカヤ葺きの水車小屋、東屋、遊歩道があります。



因伯の名水

⑩本宮の泉

日量30,000トンを湧出する豪快な名水で、昭和60年に鳥取県の「因伯の名水」の「暮らしの中の泉」に選定されました。飲んでおいしいだけでなく、かつてはニジマスやコイなどの養殖もさかんでした。また、亜熱帯植物クリハランの県西部唯一の自生地としても有名です。



物産館

⑪白鳳の里 淀江ゆめ温泉

湧出量が豊富なため、かけ流し式で常にお湯が張り替わっておりいつでも新鮮なお湯が楽しめます。泉質はアルカリ単純泉で肌にやさしい美肌の湯です。施設内にはレストランや物産コーナーもあります。

周辺では菜の花やコスモス、スイセンなど四季を通じて草花を楽しめます。

(問) 0859-56-6801



(営) 10:00~21:00
入浴 10:00~20:30(受付終了)
(休) 毎月第4水曜日(祝日の場合は翌日)

⑫淀江どんぐり村

本宮展望駐車場の一角にあり、絶好の景観の大山を楽しめます。山小屋風の館の前庭には名水「本宮の泉」から汲み上げられた湧水が流れています。

また、「ときめき市」では、おいしい水で育った葉わさびやクレソン、とれたて野菜やくだものが並びます。

(問) 0859-27-6098



(営) 10:00~16:00
(休) 木曜日(祝日の場合は営業)
年末年始

伝統・祭事

⑬和傘伝承館

淀江の歴史は古く、文政4年(1821年)に倉吉から淀江に来た倉吉屋周蔵が傘屋をひらいたことによるといわれています。昔は西日本有数の和傘の産地でもあり、砂浜に数千本の傘が一度に干される風景も見られました。現在は「淀江傘伝承の会」の皆さんによってその工程が演説され、ギフト用に販売もされています。

(問) 0859-56-6176



(営) 9:00~17:00 ※要予約
(休) 日・月曜日・祝日・年末年始

⑭上淀の八朔綱引き

豊作や無病息災を祈願して綱引きを行なう行事で、米子市淀江町福岡の上淀地区で9月の第1日曜日に行われています。藁(わら)でクチナワサンと呼ばれる大蛇を作り、住民が担いで天神垣神社境内に祀った荒神の神木の周囲を回り、その後集落に移動して綱引きを行なって豊作を占い、最後はクチナワサンを村境に安置します。全国的にも類例が少なく、鳥取県や兵庫県但馬地方に伝承してきたことが知られています。



⑮日吉神社神幸神事

よいとまかせ

350年以上の伝統を持つ市指定の無形文化財です。毎年5月3日に行われる御幸行列は、大山地区の寺社奉行の行列を再現したといわれ、獅子舞や山車をあわせ200人を超える時代行列が淀江の町を練り歩きます。先導役のかけ声から、祭そのものは「よいとまかせ」とも呼ばれています。まさに華麗な時代絵巻です。



淀江さんこ節

約300年前の江戸元禄年間に起源を持つ郷土民謡で、三弦・太鼓・打鉦(ウチガネ)の旋律に和して唄やかに歌われ、七七七五調の歌詞は安来節の元唄といわれています。各地方の船乗衆が歌う民謡と、淀江古来の民謡が融合して誕生し、幕末から明治にかけて酒席で持て囃されて一大ブームとなり、おめでたい芸能として今に受け継がれています。



米子市淀江町地域に関するお問い合わせ

米子市淀江支所内 淀江振興課

〒689-3492 鳥取県米子市淀江町西原1129-1

米子市ホームページ▶ <http://www.city.yonago.lg.jp/>

facebook よどえらだいす▶ <https://www.facebook.com/YodoeParadise>

TEL 0859-56-3164

FAX 0859-56-5201

e-mail yodomachi@city.yonago.lg.jp

平日(月～金)8:30~17:15
※祝日を除く